

2024年11月21日

電通、データクリーンルーム活用ソリューションをグローバルでも提供開始 —プラットフォーム事業者との連携を強化し、 EMEA、APAC、US地域でCookieフリーのマーケティングを支援—

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑）は、データクリーンルーム^{*1}活用のためのノウハウやシステム、ソリューションを、電通グループの海外拠点（EMEA、APAC、US地域^{*2}）にも提供開始しました。これにより、Cookieフリーの安全かつ高度なマーケティングをグローバルで支援していきます。

当社は2016年から、Cookieを使用せずセキュアにデータの統合・分析ができるデータクリーンルームに着眼し、各プラットフォーム事業者と早期に連携して、その活用を推進してきました。現在は、年間1000件を超える、データクリーンルームを活用した分析・コンサルテーションを顧客企業に提供するなど、国内で有数の活用実績があります。

このたび、日本国内で蓄積したノウハウをベースに、電通グループの海外拠点と連携して、各国・地域固有のデータ&テクノロジー環境、プライバシー法令、システムセキュリティの在り方、ビジネス商習慣などを、実践に即した形で体系的に整理したことで、データクリーンルーム活用ソリューションのグローバル展開が可能になりました。具体的なサービス内容は以下の通りで、2026年までに順次実施していきます。

<具体的サービス内容>

① 「TOBIRAS global」の開発

データクリーンルーム活用のためのシステム基盤「TOBIRAS（トビラス）」のグローバル版を開発していきます。第1弾として、Metaからサポートを受けて開発したβ版を、EMEA、APAC、US地域にてローンチし、1st Partyデータのセキュアな転送、集計の簡易化（広告効果を自動的に評価するダッシュボードの提供）、広告効果の高いユーザー群の分析・抽出などの基本的機能を実装します。日本国内での実践で蓄積したノウハウを結集し、専門コンサルタントによる複雑な対応を要していたデータ連携・分析業務が、非エンジニアでも実施可能となる簡易ダッシュボードを独自に構築します。

将来的には、電通グループの一社であり、米国で最大級のデータマーケティング会社であるMerkle社のデータ基盤「Mercury」と「TOBIRAS global」を連携させることで、より多角的なデータ分析がワンストップで実行できる体制を構築します。

② 各エリアに最適な個別のデータクリーンルームの活用コンサルやソリューションの提供

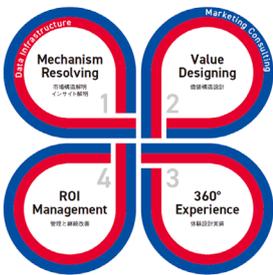
「TOBIRAS global」で型化された分析ソリューションを展開するだけでなく、個別の要望に柔軟に 대응するために、Google、Amazon、Xなど^{*3}の個別のカスタムソリューションも提供していきます。特に、Xのデータクリーンルームを利用できるエージェンシーは世界でも限られている中で、当社の強みは、Xとともに独自のデータクリ

ールームを構築している点にあります※4。こうした強みも生かしつつ、各エリアの特性や各企業の課題に応じて、最適なデータクリーンルームとその活用ノウハウを提案していきます。

③ 「TOBIRAS」機能／ノウハウの顧客企業への提供

各エリアにおけるデータ&テクノロジー環境やビジネス商習慣の違いを加味し、顧客企業が自社のシステム環境下でデータクリーンルームを保有・活用することなども視野に、“TOBIRAS OEM (Original Equipment Manufacturing)”として「TOBIRAS」で培った技術やノウハウの提供を準備していきます。

当社は今後も、海外拠点を含む電通グループ全体でデータクリーンルーム関連の投資を拡大し、グローバルでプラットフォーム事業者との連携強化を図ることで、「TOBIRAS global」の機能拡充やデータアナリスト人材の育成を進め、顧客企業のマーケティング変革に貢献していきます。



データクリーンルームに関する取り組みは、電通が提唱する、事業グロースのための次世代マーケティングモデル「Marketing For Growth」において、動脈となる「Data Infrastructure (データシステム基盤)」の基幹サービスです。

「Marketing For Growth」については以下リリースをご確認ください。

<https://www.dentsu.co.jp/news/business/2024/0130-010682.html>

- ※1 プラットフォーム事業者が広告主・広告会社などに提供するクラウド環境。プライバシーが保護された環境下で、プラットフォーム事業者の保有データと、企業の1st Partyデータ、その他複数の外部データを、さまざまなニーズに応じて柔軟に統合、分析することが可能。
- ※2 各プラットフォーム事業者がサービスを提供している国・地域に限る。
- ※3 電通グループがプラットフォーム事業者よりライセンスを受けて、データクリーンルームを開設した順
- ※4 2021年10月28日発表：国内初、Twitterと構築したData Clean Room「Twitter Data Hub Omusubi」を提供開始
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2021/1028-010455.html>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 事業広報部

宮田

Email : jigyokoho@dentsu.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 データ・テクノロジーセンター

前川、舟木、陳、熊谷、譚、坂元

株式会社電通デジタル

井崎

Email : data-alliance-unit@dentsu.co.jp